

2020年11月13日

株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ

2021年3月期業績目標の修正について

2020年5月15日に公表した2021年3月期の「親会社株主に帰属する当期純利益」目標につきまして、堅調な中間期実績を踏まえ、6,000億円に上方修正しましたのでお知らせいたします。

2021年3月期（2020年4月1日～2021年3月31日）

	親会社株主に帰属する当期純利益
前回発表目標（A）	5,500億円
今回修正目標（B）	6,000億円
増減額（B-A）	500億円
増減率	9.1%
前期実績（2020年3月期）	5,281億円

（ご参考：2021年3月期 業績目標の概要）

（単位：億円）

	2021年3月期		2020年3月期	
	2021年3月期	中間期 （実績）	2020年3月期 （実績）	中間期 [※] （実績）
業務純益（一般貸倒引当金繰入前・信託勘定償却前）	11,500	7,404	11,844	6,271
与信関係費用総額（△は費用）	△5,000	△2,584	△2,229	△180
経常利益	9,200	5,902	12,357	7,910
親会社株主に帰属する当期純利益	^[業績目標] 6,000	4,008	5,281	6,069

※ 企業会計基準第30号「時価の算定に関する会計基準」及び企業会計基準適用指針第31号「時価の算定に関する会計基準の適用指針」を遡及適用

以上

本資料には、当社または当社グループの業績、財政状態に関する予想、見通し等の将来に関する記述が含まれています。かかる記述は、現時点における予測、認識、評価等を基礎として記述されています。また、将来の予想、見通し等を作成するためには、一定の前提（仮定）を使用しています。これらの記述ないし前提（仮定）は、その性質上、将来そのとおりに実現するという保証はなく、客観的には不正確であったり、実際の結果と大きく乖離したりする可能性があります。そのような事態の原因となりうる不確実性やリスク要因は多数あります。その内、現時点において想定し得る主な事項については、最新の決算短信、有価証券報告書、ディスクロージャー誌、Annual Reportをはじめとした当社の公表済の各種資料をご参照下さい。